

2009中国トカラ皆既日食

小澤 祐二 (1973新天)

1. 観測地点

東経122度 3分40.27秒
北緯30度38分15.69秒
中国上海 小洋山島
(ユーラシア旅行社
皆既日食ツアー)

2. 観測者 小澤 祐二
小澤 美智子

3. 観測機材と目的

コロナ拡大写真用
タカハシSKY90
エクステンダー1.6
+Canon5DMk2
外部コロナ写真用
シグマ70-200 F2.8APO
エクステンダー2
+Canon40D
コロナ全体ビデオ用
Nikonフィールドスコープ
D82 20XWFA
+SANYO Xacti
全天魚眼写真用
シグマ8mm F3.5
Canon5D
全天魚眼ビデオ用
NikonFisheyeConverter
FC-E9
Canon ivisHF100
赤道儀
GOTOマークX

今回の目的は皆既日食を同時に色々な機材で撮影し、日食を実感するコンテンツを作成する。

4. 紀行文

昨年のゴビ砂漠日食で皆既中のみ太陽が、雲の中で見られなかった無念さを癒す為に、気軽な気持ちで上海に妻を誘って行く事になりました。一週間くらい前から天気予報では日食当日は雨の予報でしたが、前日夕方、青空が見えていたので少し期待していました。当日朝から小雨模様で、



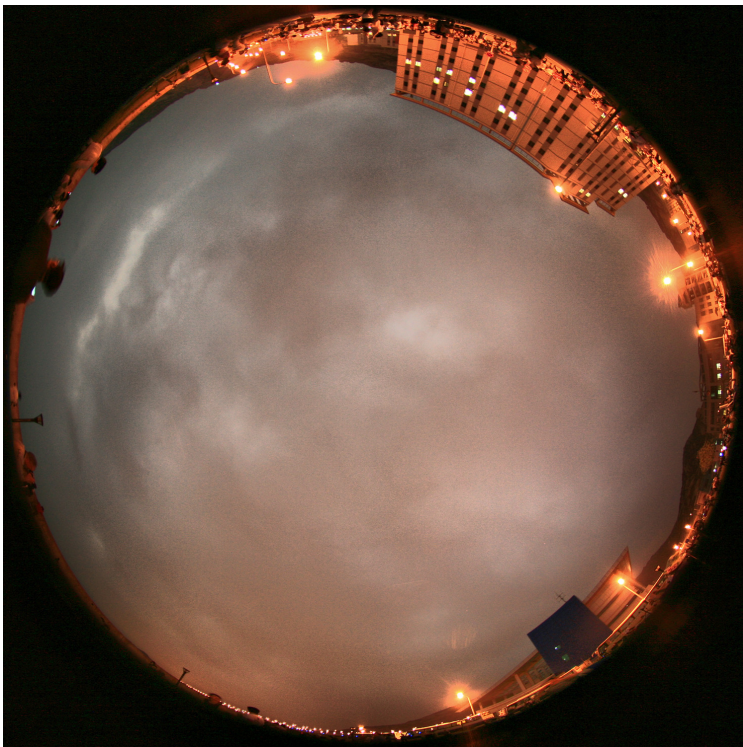
観測地ではなんとか雨はやんだものの、太陽の場所すら厚い雲で確認できない状態でした。最後まであきらめない気持ちで観測機材を組み立てていると続々と人々が島のあちこちに見られるようになりました。そのうちに私の機材を見つけ、テレビ局と新聞社が取材に来たため、各機材と、どんな写真やビデオを撮るのかを説明しました。そのうちに第一接触の時刻となりましたが一向に太陽は現れる気配もありません。半分あきらめていると、雲間から雲のフィルターを通して欠けた太陽が現れ回りから歓声がありました。すぐに隠れてしまいました。第2接触近くで本影睡の移動を確認しようとしたのですが、雲が一様に暗くなる様でした。その後、あたりはかなり暗くなり街灯や自動車のヘッドライトが目立つよ



うになりました。皆既中は今まで4回経験した中では極端に暗く長く感じ鳥肌が立ちました。第3接触後も太陽は雲を通して見え隠れし、今年の皆既日食は終了しました。その後、同じテレビ局が感想を聞きに来ました。「黒い太陽は見られなかったが、自然の脅威を肌で感じられこの場に居られた事を中国の人々に感謝します」と答えました。全く見られないと思った日食が部分食だけでも見られ、妻も感動していました。地球上で日食を見る限り必ず見られる保証はありませんが、太陽、月 地球と自分が一直線上に並ぶことの不思議な体感があり、また次の日食へと思いを寄せることができ、一段と日食病が進行した感じです。日食の後は蘇州と上海の観光を多くの日食病の人たちと楽しみました。



皆既前後の部分食の合成
Canon5DMk2 SKY90



皆既中の全天撮影
Canon5D 8mm 魚眼



上海テレビ局の取材

